

気象庁における緊急地震速報の周知・広報及び利活用の推進に関する取組み

1 周知・広報の推進に関する取組み

これまでに実施した緊急地震速報の周知・広報に関する気象庁の主な取組みをまとめた。
また、参考として、新聞報道等の件数をまとめた（別紙 1）

体制の充実	作成部数等		
気象庁 緊急地震速報一般提供に向けた周知・広報推進本部を設置		3月20日	
広報資料の充実			
緊急地震速報をご存知ですか？	50万部	平成18年 10月	別紙2
緊急地震速報～この秋スタート	50万部 15万部	4月 6月	別紙3
(子ども用) 緊急地震速報って知ってる！？ (内閣府、文部科学省と協力)	1万部 400万部	6月 8月	別紙4
(一般用) 緊急地震速報って知ってる！？ (内閣府、文部科学省と協力)	1,700万部	8月	別紙5
(自動車運転者向け) 緊急地震速報 - 揺れより早く	500万部	9月	別紙6
映像資料			
「その時、あなたは どうする！ 緊急地震速報のしくみと心得」	DVD 3,000枚 インターネット公開	6月	
ポスター			
あなたの命にかかわる速報です。	5万枚	7月	別紙7
「ぼくたちの命をまもる おしらせだ」 「考えよう、数秒間で、出来ること」	各々 25,000枚	9月	別紙8
政府広報			
テレビ・ラジオ等による周知・広報			別紙9
イベントによる周知			
第132回気象記念日フォーラム「緊急地震速報を防災に活かす」開催(NHKと共催)	約800人参加 NHK BSで放送	6月	別紙10
緊急地震速報「全国小中学校標語コンクール」 応募期間：7月2日～7月27日、表彰式：8月22日	応募総数 約3,000件	7月 8月	
「知ってる！？緊急地震速報」 in 八重洲地下街開催 8月13日～19日		8月	
認知度調査			

第1回調査		5月	
第2回調査		9月	
気象庁本庁、地方官署の取組み			
全国の気象官署で、説明会、講演会等を実施			別紙11

子ども用リーフレット「緊急地震速報って知ってる！？」、一般用リーフレット「緊急地震速報って知ってる！？」は、文部科学省の協力を得て、全国の幼稚園、小学校、中学校、高等学校を通じて全国へ配布

2 利活用に関する取組み

ア) 気象庁本庁庁舎において緊急地震速報モデル実験の実施

来訪された一般の方々に緊急地震速報を体験いただく機会をつくとともに、その際行うアンケート調査により、緊急地震速報の利用の心得に基づく対応行動等に関する課題の抽出を図ることを目的に、気象庁本庁庁舎において緊急地震速報モデル実験を実施（平成19年4月23日～）

イ) 「緊急地震速報の利活用の手引き（施設管理者用）Ver.1.0」作成

国や地方公共団体の庁舎や公共施設、民間のオフィスや集客施設などにおける緊急地震速報の一般的な利活用の方法や緊急地震速報を取り入れた訓練を計画・実施する際のポイントをまとめた「緊急地震速報の利活用の手引き（施設管理者用）Ver.1.0」を作成した。（参考資料1-1）

ウ) 「緊急地震速報受信時対応行動訓練用キット」作成

緊急地震速報を国民の皆さまに理解し、有効に利活用して頂くため、各機関等で実施される防災訓練のなかで緊急地震速報受信時の対応行動訓練を実施して頂けるよう、訓練用キットを作成した。

全国各地での訓練が可能となるよう、8つの地域の地震を想定した映像を作成し、気象庁ホームページへ掲載している。

キットでは、緊急地震速報受信時（テレビで確認する場合を想定）の対応行動から地震による揺れが収まった後の避難行動開始までの訓練を支援するため、映像と音声により一連の流れを表している。

緊急地震速報を取り入れた訓練の実施状況を別紙12及び別紙13にまとめた。

別紙12 緊急地震速報利活用機関の実施状況

別紙13 地方自治体、教育機関における実施状況

緊急地震速報についての報道件数

1. 新聞報道等件数

平成18年1月1日～平成18年12月31日 200件

平成19年1月1日～平成19年9月11日 203件

件数は気象庁で把握した数。地方紙等の全てを確認している訳ではないので、これら以外にも多数報道されていると思われる。

2. テレビ報道等（最近の主なもの）

・つながるテレビ@ヒューマン

平成19年8月5日 日本放送協会

・イブニングニュース シリーズ緊急地震速報 ～

平成19年8月～9月 株式会社東京放送

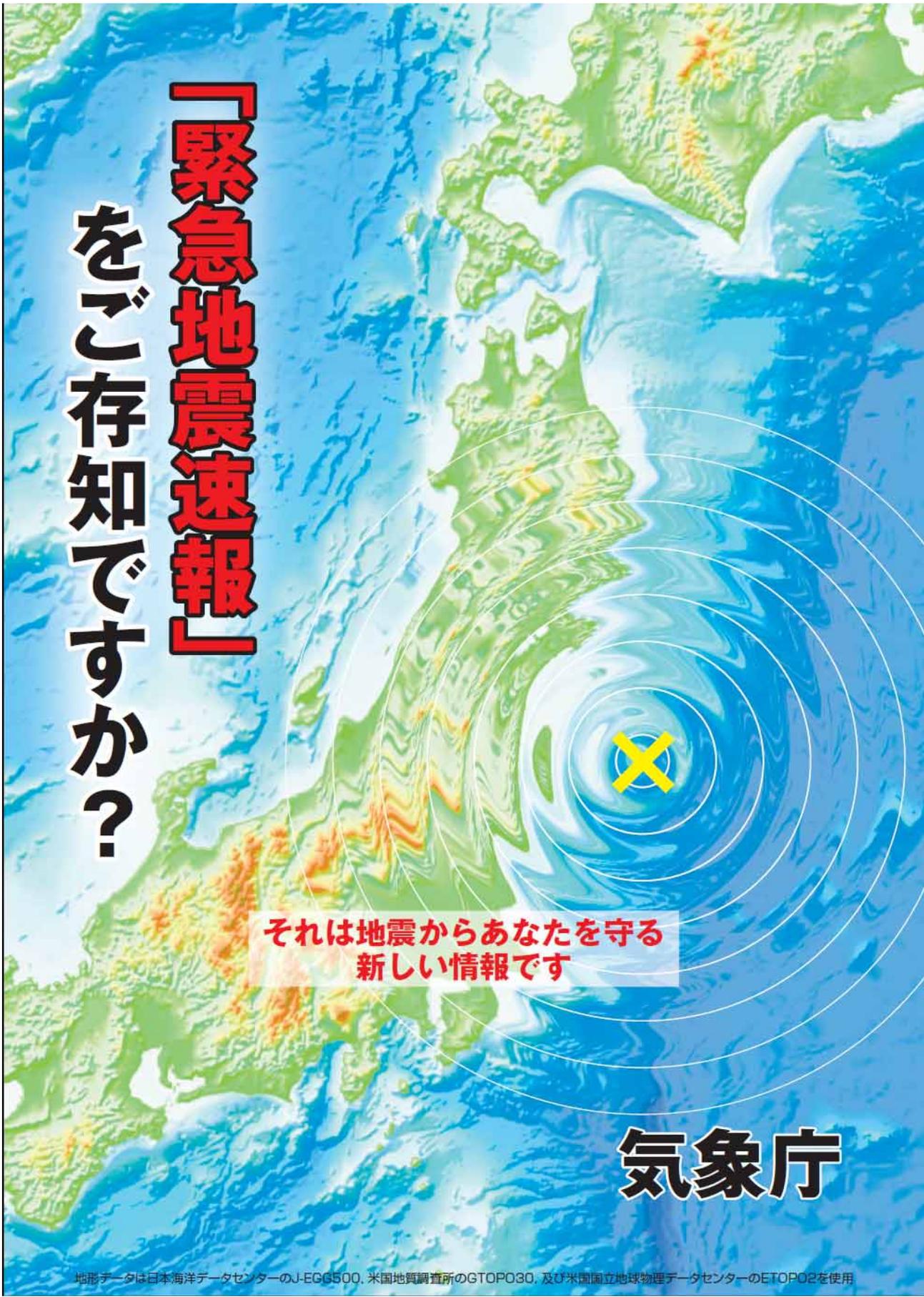
・生活ほっとモーニング シリーズ大地震 その時あなたは 地震まであと5秒！？

平成19年8月30日 日本放送協会

・世界初！画期的システム “緊急地震速報” 始動へ

平成19年9月4日 日本テレビ放送網株式会社

等多数の番組が放送されている。特に、ニュース番組では多数取り上げられている。



**「緊急地震速報」
をご存知ですか？**

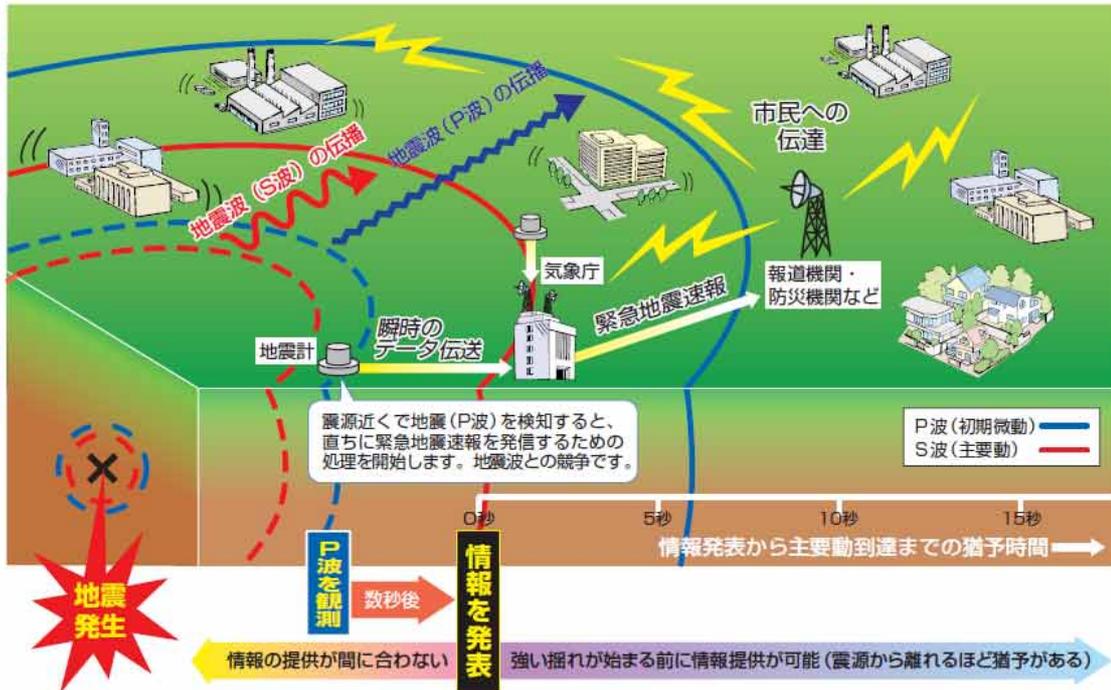
**それは地震からあなたを守る
新しい情報です**

気象庁

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2を使用

緊急地震速報：なぜ揺れる前に地震の発生をお知らせできるのか

緊急地震速報の原理



- 地震の揺れは、震源から波紋のように波(地震波)として伝わっていきます。
- 地震波は主に2種類あります。P波(初期微動)とS波(主要動)です。最初にP波が伝わります。次に強い揺れのS波が伝わります。地震による被害は主にS波によってもたらされます。
 - <地震波が伝わる速さ>
 - P波(カタカタ揺れる波) 秒速 約7キロメートル
 - S波(ユサユサ揺れる波) 秒速 約4キロメートル
- 「緊急地震速報」は地震の発生及びその規模を素早く知り、地震による強い揺れが始まる数秒～数十秒前に、強い揺れが来ることをお知らせすることを旨とする新しい情報です。ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

全国に配置した地震計(気象庁:約200箇所、独立行政法人防災科学技術研究所:約800箇所)を使って、地震の位置、大きさを瞬時に推定、予想される揺れの大きさ(震度)を推定

IT技術を活用し、素早くお知らせ(緊急地震速報)

どう使う

- 緊急地震速報を有効に活用するためには、緊急地震速報を見聞きした際に適切に行動できるように「訓練」しておく必要があります。

<適切な行動の例>

- あわてず落ち着いて行動することが基本となります。
- ・家庭内:大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。
- ・集客施設:あわてて出口や階段に殺到しない。



「緊急地震速報」
強い揺れが来ます!
(揺れの予告)

気象庁は、「緊急地震速報」の家庭での利用などを検討し、できるだけ早期に広く国民の皆様へ「緊急地震速報」の提供を開始できるように準備を進めています。



危険回避!



「緊急地震速報」についてのお問い合わせ

気象庁地震火山部管理課

〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号

電話: (03) 3212-8341 (代表)

気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp>

2006年10月

緊急地震速報のしくみ

緊急地震速報は、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）の地域の名前を強い揺れが来る前にお知らせするものです



- 「緊急地震速報」は、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します。地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、素早くお知らせします
- ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります

「緊急地震速報」についてのお問い合わせ先
 気象庁地震火山部管理課
 〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号
 電話：(03) 3212-8341（代表）
 気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/>
 緊急地震速報について <http://www.sirenet.mhous.go.jp/eq/EEW/valsetsu/index.html>

緊急地震速報

この秋、スタート



平成19年（2007年）
 震度半島地震
 緊急地震速報提供から
 強い揺れが来るまでの
 警告時間（秒）

緊急地震速報は、地震による強い揺れを事前にお知らせすることを旨とする新しい情報で今年9月頃から提供を開始する予定です

平成19年
 国土交通省
気象庁

家庭では 頭を保護し丈夫な机の下などに隠れる
 あわてて外へ飛び出さない

人がおおぜいいる施設では
 係員の指示に従う
 落ちついて行動
 あわてて出口に走り出さない

自動車運転中は
 あわててブレーキをかけない
 ハザードランプを点灯し、
 揺れを感じたらゆっくり停止

緊急地震速報

緊急地震速報「利用の心得」
**周囲の状況に応じて
 あわてずに
 まず身の安全を確保する！**

緊急地震速報は見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります

屋外（街）では
 ブロック塀の倒壊等にご注意
 看板や割れたガラスの落下にご注意し、ビルのそばから離れる

鉄道・バス乗車中は
 つり革、手すりに
 しっかりつかまる

エレベーターでは
 最寄りの階で
 停止させすぐに
 降りる

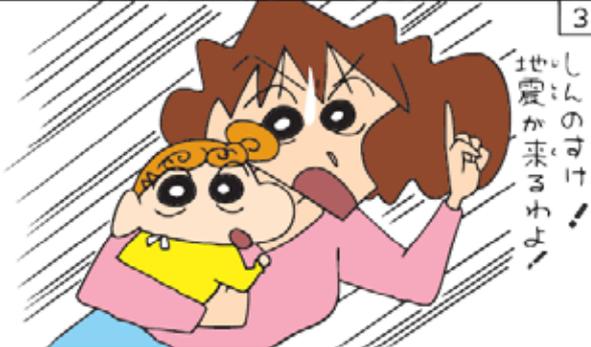
山やがけ付近では
 落石やがけ崩れにご注意

緊急地震速報って知ってる!?

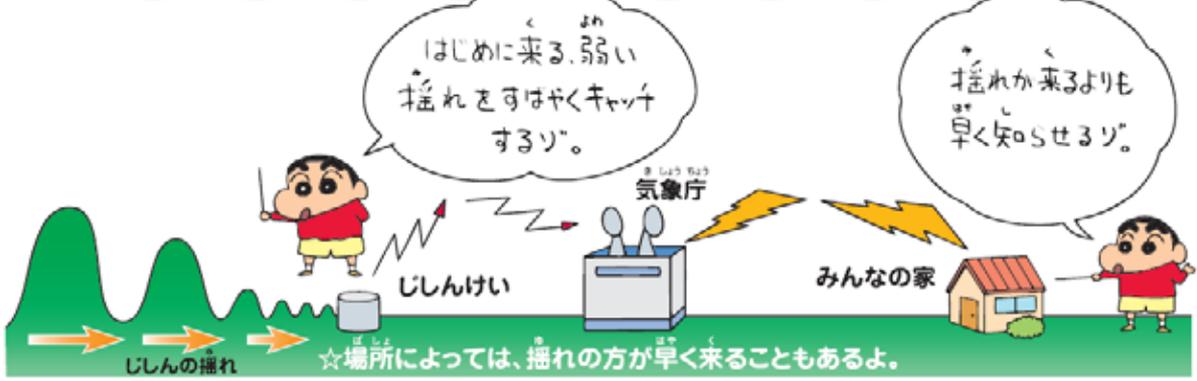
平成19年
10月1日スタート!



1 2
3 4



緊急地震速報のしくみ



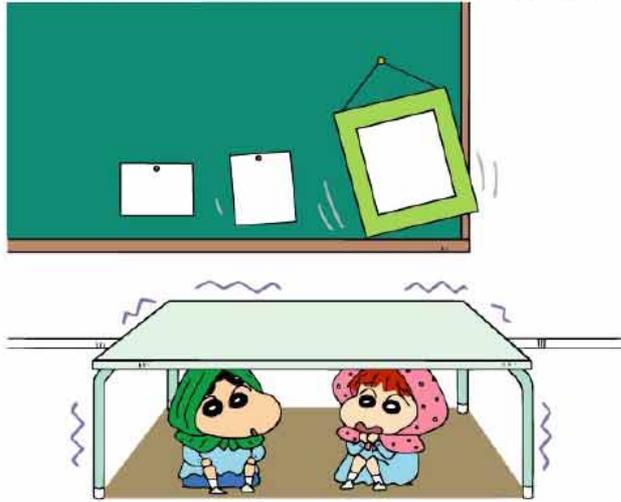
国土交通省
内閣府・気象庁

©日本橋人 / 株式会社・シンエイテレビ朝日・ADK

強い揺れが来ると聞いたときは？



学校にいたら？
先生のいうことをよく聞いて
つくえの下などにかくれて身を守ろう



家の外にいたら？
ブロックべいなど、たおれたり
おちてきたりするものから
はなれよう



電車・バスにのって
いたら？
急ブレーキにそなえて、手すりなど
にしっかりつかまろう



人がたくさんいるところ
にいたら？
あわてて出口に走り出さず、係の人
にしたがいおちついて行動しよう



とつぜん揺れたときも、行動は同じだよ



問い合わせ先
気象庁

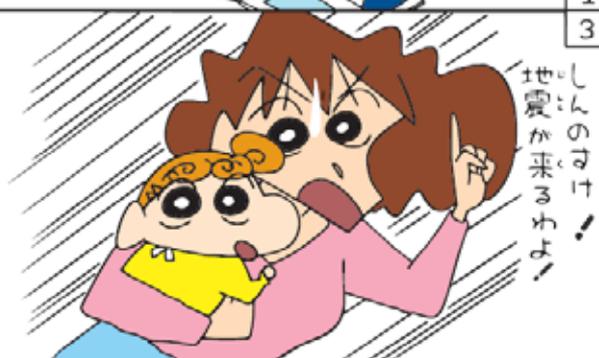
〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4
TEL：03-3212-8341
ホームページ：http://www.jma.go.jp/

緊急地震速報って知ってる!?

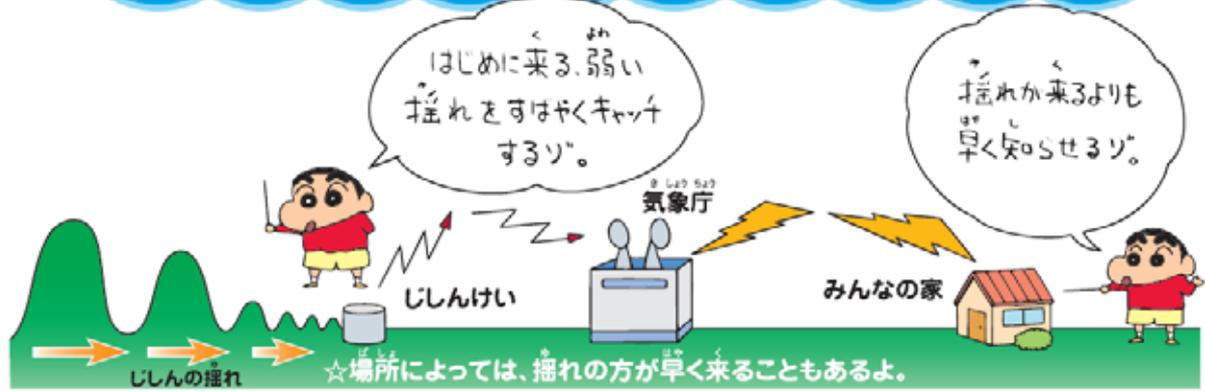
平成19年
10月1日スタート!



1 2
3 4



緊急地震速報のしくみ



国土交通省
内閣府・気象庁

©日井慎人 / 双葉社・シンエイテレビ朝日・ADK

家庭では

- ・頭を保護し丈夫な机の下などに隠れる
- ・あわてて外へ飛び出さない
- ・無理して火を消そうとしない



人がおおぜいいる施設では

- ・係員の指示に従う
- ・落ちついて行動
- ・あわてて出口に走り出さない



緊急地震速報「利用の心得」

自動車運転中は

- ・あわててスピードをおとさない
- ・ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促す
- ・急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとす
- ・大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止

周囲の状況に応じて
あわてずに
まず身の安全を確保する！

緊急地震速報は見聞してから、強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません
その短い間に身を守るための行動を取る必要があります



屋外(街)では



- ・ブロック塀の倒壊等にご注意
- ・看板や割れたガラスの落下にご注意
- ・丈夫なビルのそばであればビルの中に避難

鉄道・バス乗車中は

- ・つり革、手すりにしっかりつかまる



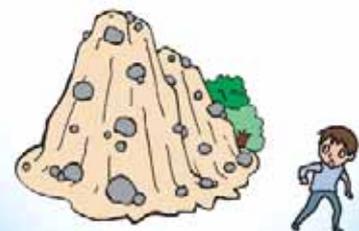
エレベーターでは

- ・最寄りの階で停止させすぐに降りる



山やがけ付近では

- ・落石やがけ崩れにご注意



「緊急地震速報」についてのお問い合わせ先
 気象庁地震火山部管理課
 〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号
 電話：(03) 3212-8341 (代表)
 気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/>
 緊急地震速報について
<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>

※緊急地震速報は、独立行政法人防災科学技術研究所による技術開発の成果と、財団法人鉄道総合技術研究所と気象庁による共同技術開発の成果により、可能となりました。

緊急地震速報

一揺れより早く←

走行中に

“緊急地震速報”

を聞いたら



- あわててスピードをおとさない
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促す
- 急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとす
- 大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止

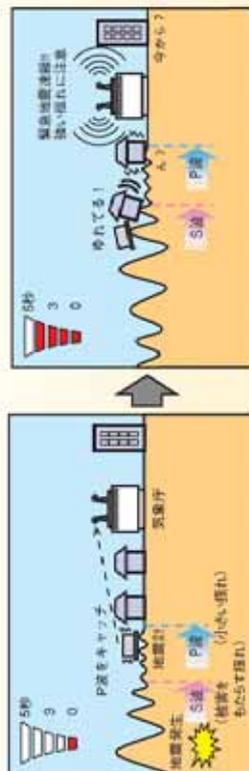
平成19年
国土交通省
気象庁

緊急地震速報

10月スタート

気象庁は、地震による強い揺れを
事前にお知らせすることを目指す新しい情報として、
緊急地震速報を

平成19年10月1日から提供開始する予定です



- 「緊急地震速報」は、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します。地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、素早くお知らせします
- 緊急地震速報は、テレビ・ラジオなどを通して提供されます
- ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります

問い合わせ先 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4
せしやうちょう
気象庁 TEL：03-3212-8341
ホームページ：http://www.jma.go.jp/

あなたの命にかかわる速報です。



緊急地震速報

来る前に知る

平成19年 **10月1日**スタート!

緊急地震速報とは?

地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒〜数十秒前に、素早くお知らせする新しい情報です。ただし、震源に近い場所では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。気象庁のホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)

緊急地震速報の受け方

震度5弱以上が推定される場合に、テレビ・ラジオを通じて速報が受けられる予定です。また、情報提供会社からインターネット、CATV回線などを利用してパソコンや専用端末に伝達するサービスや、揺れの大きいエリアにいる携帯電話ユーザーに一斉同報配信するサービスも予定されています。◎緊急地震速報利用要領書のホームページ(<http://www.aeser.kagf.jp/>)なども参照

緊急地震速報を受けたら

周囲の状況に応じてあわてずに、まず身の安全を確保しましょう。



国土交通省 気象庁 ・ 緊急地震速報利用者協議会



緊急地震速報とは？

地震をすばやくキャッチし、強いゆれが始まることを数秒～数十秒前にお知らせする新しい情報です。テレビ・ラジオなどを通じて受けられる予定。 ※ただし、震源に近い場所では強い揺れに間に合わないことがあります。詳しくは気象庁のホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)をご確認ください。

- | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| あたまをまもる | かぐからはなれる | へいからはなれる | 落ちてくるものにちゅうい | あわてて外にとびださない | 近くの階でおりる | 急ブレーキをかけない | ハザードランプをつけて減速 |

■標語は「緊急地震速報全国小中学校標語コンクール」最優秀賞：高知県 高須小学校4年 北岡七海さんの作品

国土交通省 気象庁

考えよう、数秒間で、出来ること



緊急地震速報

平成19年10月1日スタート!

©TSUBURAYA PROD.

緊急地震速報とは？

地震をすばやくキャッチし、強いゆれが始まることを数秒～数十秒前にお知らせする新しい情報です。テレビ・ラジオなどを通じて受けられる予定。※ただし、震源に近い場所では強い揺れに間に合わないことがあります。詳しくは気象庁のホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)をご参照ください。



あたまをまもる



かぐからはなれる



へいからはなれる



落ちてくるものにちゅうい



あわてて外にとびださない



近くの階でおりる



急ブレーキを
かけない



ハザードランプ
をつけて減速

■標語は「緊急地震速報全国小中学校標語コンクール」最優秀賞・群馬県 樹徳中学校1年 浅若万豊さんの作品

国土交通省 気象庁

「緊急地震速報」広報一覽 政府広報

平成19年9月11日現在

名称	媒体	発行元等	放送日(予定含む)	備考
政府インターネットテレビ	web	内閣府	3月29日～	web閲覧可
Cabiネット	広報誌	内閣府	済 4月1日号, 9月10日号	済
JUST JAPAN	テレビ	テレビ神奈川	済 4月14日(土)22:00～22:30	済, web閲覧可
栗村智のHAPPY!ニッポン!	ラジオ	ニッポン放送	済 5月12日(土)7:00～7:30(お知らせ) 10月6日(土)7:00～7:30(本編)	済
キク!みる!	テレビ	フジテレビ	済 5月18日(金)22:52～23:00	済
新ニッポン探検隊	テレビ	日本テレビ	済 6月10日(日)6:30～6:45	済
峰竜太のナッ得ニッポン	テレビ	BS朝日	済 6月25日(月)21:00～21:30	済, web閲覧可
中山秀征のBeautiful Japan	ラジオ	FM東京	済 6月30日(土)9:30～9:55	済
ドゥ! JAPAN	テレビ	日経CNBC	済 7月5日(木)21:00～21:30	済, web閲覧可
そこが聞きたい!ニッポンの明日	テレビ	フジテレビ	済 3月18日(日)8:55～9:00 9月30日(日)8:55～9:00	
ご存じですか	テレビ	日本テレビ	10月1日(月)11:25～11:30	
The News	携帯		済 8月20日(月)～8月26日(日)	済
音声広報CD「明日への声」 点字冊子「時の動き」	CD 冊子	内閣府	9月下旬発行	
asahi.com 1行広告	web	asahi.com	9月24日(月)～30日(日)掲載予定	
雑誌広告	雑誌		以下の雑誌に掲載 日経ビジネス(8/31発売号) ESSE(9/7),TVガイド(9/12), 週刊文春(9/13),週刊新潮(9/20), non-no(9/20), ビッグコミックオリジナル(9/20)	一部済
新聞記事下	新聞	日経、朝日、産経	9月30日掲載予定	
国の施策紹介	web	総務省	済 7月10日(火)	済, web掲載可

いきなり襲ってくる地震。けれど、たった数秒前でも、強い揺れが来ることを知らせてくれる情報があつたら、あなたはこうしたら良いと思いますか。

この9月にも提供が始まる緊急地震速報とは、地震が起きたときに強い揺れがやってくることを事前に知らせることを目指した新しい情報です。地震への心構えは？ 緊急地震速報を上手に活用するには？

フォーラムを通じて、あなた自身の地震防災について今から考えてみませんか。

期日：平成19年6月1日(金)
 受付・開場 13:00～
 記念フォーラム13:30～16:30

会場：(財)日本教育会館(一ツ橋ホール)
 半蔵門線、都営新宿線 神保町駅A1出口より徒歩3分
 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 TEL: 03-3230-2833(代)



第1部 ◆ 基調講演
「地震学の挑戦 ～その知見が社会にもたらしたもの～」
 講師 山岡 耕春 (名古屋大学大学院教授)

第2部 ◆ パネルディスカッション
「地震災害から身を守るために」
 コーディネーター 山崎 登 (NHK解説委員)
 パネリスト 中森 広道 (日本大学文理学部社会学科准教授)
 細淵 功 (八重洲地下街株式会社 常務取締役)
 井口 玲音 (タレント)
 岩田 孝仁 (静岡県防災局防災情報室長)
 鉢嶺 猛 (気象庁地震火山部管理課長)



入場無料
 事前の予約は不要です。

主催 国土交通省 気象庁 NHK 後援 内閣府(防災担当)
 問合せ先 気象庁 広報室 TEL 03-3212-8341(代)
 詳しくはホームページ URL <http://www.jma.go.jp>

同時開催 「緊急地震速報関連機器等の展示」(緊急地震速報利用者協議会主催)
 会場：(財)日本教育会館(8階 第二会議室) 日時：6月1日(金) 11:00～17:00
 詳しくはホームページ URL <http://www.eewrk.org/>

第132回気象記念日フォーラム
緊急地震速報を防災に活かす

各地域取り組み状況 [H19年4月以降]

各セル内は、各管区の報告による取り組み個数。下段はそのうちマスコミで発表、紹介されたもの。

	説明会		講演会等		広報・投稿		その他	
	済	予定	済	予定	済	予定	済	予定
本庁	12	1	12	2	22	5	26	1
	0	0	2	1	8	3	4	1
札幌管区気象台 (管:1、地:6)	38	3	42	5	83	13	313	18
	0	0	0	0	6	4	11	0
仙台管区気象台 (管:1、地:5)	48	0	50	3	205	19	188	14
	1	0	0	0	31	9	2	0
東京管区気象台 (管:1、地:16、測:3)	103	1	155	20	252	28	322	54
	0	0	1	0	7	4	2	0
大阪管区気象台 (管:1、地:14、航:3)	80	1	89	2	312	4	631	7
	0	0	0	0	19	0	6	0
福岡管区気象台 (管:1、地:7)	186	4	63	8	62	12	456	46
	0	0	0	0	6	2	2	4
沖縄気象台 (管:1、地:3、測:1、航:1)	41	1	61	22	80	57	225	13
	0	0	0	0	12	16	18	3
計	508	11	472	62	1016	138	2161	153
(うちマスコミ)	1	0	3	1	89	38	45	8

* 各管区気象台及び沖縄気象台の取り組みには、各地方気象台・測候所等の取り組みを含む。
 (官署数を下段に記載。管:管区等、地:地方気象台・海洋気象台・測候所、航:航空官署)
 * 済:1に分類されているのは8月31日までに実施された取り組み。

緊急地震速報利活用機関における防災訓練の実施状況（緊急地震速報を取り入れたものに限る） 期間：防災週間前後より10月1日まで（予定含む）

機関名	実施日時	実施場所	参加者等	訓練内容
株式会社 山武	8月29日 13時 (～30分間程度)	神奈川県藤沢市 藤沢テクノセンター	社員約1500名	緊急地震速報を受信したことを想定し、全館放送(サイン音+音声)に合わせて、社員(約1500名)が身の安全確保を図った後、屋外に全員避難、安全確認点呼を行った。
長野県 松本市役所	8月31日 09時 (～45分間。うち、速報による直接的訓練は、09時から1分間)	松本市役所 本庁 大手事務所	職員約800名	市役所庁舎内防災訓練で、市役所本庁舎と東庁舎、大手事務所等で訓練放送。職員約800名が庁内放送を聞いて机の下などに避難した。
三井不動産株式会社	8月31日 11時15分 (～1分間程度)	東京都中央区 日本橋(本社)	本社勤務者 約300名～400名	緊急地震速報の擬似放送(15秒後に強い揺れが到達)をし、護身訓練(机の下にもぐる等)を行った。
横浜交通局	9月1日 09時30分 (～5分間程度)	運輸司令部、 営業中の列車	運輸司令員、営業 中の全列車運転 士50名程度	緊急地震速報伝達システムを利用して訓練の緊急地震速報を鳴動させ、営業中の列車を手動により停止制御した。
静岡県	9月1日 静岡県庁本庁舎： 09時45分頃 (～約15分間) 土肥会場： 13時15分頃 (～約3分間)	静岡県庁本庁舎 及び土肥会場	総合防災訓練参加者(静岡県庁約850人、土肥会場約1,000人。緊急地震速報の訓練への参加数は不明。)	本庁舎では訓練用映像をテレビで、土肥会場では音声を通り、訓練参加者各自が身の安全を図った。
東京都交通局	9月1日 10時30分 (～20分間程度)	都営地下鉄全線、 都電荒川線	運輸指令所(4ヶ所)職員20名、営業中の全列車乗務員	震度5弱の地震発生を想定して、緊急地震速報伝達システムを模擬起動させ、全列車を次駅で停止した。
三洋ホームズ株式会社	9月1日 14時30分 (～数分間)	大阪府枚方市 (枚方事業所)	事業所員160名	工場(住宅の構造材・パネル製造等)の放送設備を利用して緊急地震速報の予報発生から到達までの時間を15秒に設定し、各持ち場での避難方法や、工場内の機械の運転制御等を行った。

機関名	実施日時	実施場所	参加者等	訓練内容
尾鷲総合病院	9月2日 09時 (～30分間程度)	三重県尾鷲市 (尾鷲総合病院 総務課)	総務課職員6名	訓練用に緊急地震速報のアラームを鳴らし、推定される地震の発生場所・規模、当市の震度予想を素早く確認し、大きな揺れの予想到達時刻までに出来る限りの避難行動を実施する訓練を行った。
名古屋交通局	9月2日 13時00分 (～数分間)	市営地下鉄全線	職員622名、推定 乗客数11,000名	震度5強の大規模な地震発生により緊急地震速報を受信したと想定し、システムを試験的に稼働させて、東山線を運行中の全列車の運転室内に停止命令の音声を放送して停止させた。また、運転指令室から、他の路線を運行している全ての地下鉄列車に停止命令を出し、合計54本(東山線19本を含む)の地下鉄の運行を停止する訓練を行った。
清水建設株式会社 技術研究所	9月3日 07時30分～ 10時30分	東京都江東区 (技術研究所構内)	震災対策要員 約50人、全所員約 300人	地震が発生し緊急地震速報を受信したという想定で、構内放送等を用い、社員が身の安全の確保を図る行動訓練を行う。また、緊急地震速報のメール配信登録先の社員に対し、擬似的に携帯電話等へ地震情報を配信。その後、安否確認システムによる従業員全員の安否報告、所内対策本部の立ち上げと訓練等を実施。
八重洲地下街株式会社	9月3日 08時39分 (～約30分間)	八重洲地下街 (メインアベニュー 付近を中心に実施)	自衛消防隊(八重 洲地下街社員)及 び自衛防火隊(テ ナント従業員)ら 約120名	緊急地震速報を受信し、間もなく地震の大きな揺れ(震度6強を想定)が来るとの情報放された状況で、各自がマニュアルに従って身の安全の確保等を行った。また、地震による停電発生による非常灯のみの照明の下で、消火や救助訓練を実施した。
小田急電鉄株式会社	9月3日 10時30分 (～数分間程度)	小田急線全線	運輸司令所職員、 営業中の全列車 の乗務員	防災訓練の一環として、模擬起動による緊急地震速報の発報に合わせて全線全列車の一時停止訓練を実施した。
宮崎県清武町	9月3日 10時45分 (～30分程度)	町立・清武小学校、 加納小学校、 大久保小学校	小学校の教職員 及び児童 約2000人	小学校で訓練の緊急地震速報の校内放送を流し、各自が地震発生時の避難行動をとるとともに、教職員の誘導により、児童がすばやく避難場所に避難する訓練を行った。
アスモ株式会社	9月3日 11時 (～1時間程度) 及び20時 (～30分間程度) 緊急地震速報に よる訓練は約2分間	静岡県湖西市(本 社)、愛知県豊橋市 (豊橋工場)	本社及び工場の 社員約6000名	訓練の緊急地震速報を鳴動させ、社員が職場の中より安全な場所に10秒以内に避難する等、各自が身の安全を守る等の避難行動を行うとともに、災害対策本部・防災団の行動訓練を実施。

機関名	実施日時	実施場所	参加者等	訓練内容
四国電力株式会社 橘湾発電所	9月3日 13時30分 (～10分間程度) 9月18日 13時30分 (～10分間程度)	徳島県阿南市橘町 橘湾発電所	発電所の 事務職員	構内放送装置により訓練の緊急信号音を放送し、職員各自が身の安全を守る等の避難行動を行う。
中部鋼鉄株式会社	9月4日 14時30分 (～2時間程度)	名古屋市中川区 (本社構内)	全社員及び協力 会社社員約200人 (業務上支障があ る場合は除く)	訓運用データ受信により、構内スピーカーから緊急地震速報のアラームを鳴動させ、各自が身の安全を守る等の避難行動を行う。また天井クレーン操作室内では回転灯を使ってアラームを発し、200トンの溶鋼が入った鍋を安全な場所へ降下させた。その他、避難訓練、点呼確認、救護訓練、消火訓練等を実施。
国立病院機構 災害医療センター	9月7日 13時 (～1分間程度)	災害医療センター内	職員、看護学生、 入院患者、 約1100名	訓練のシグナルによって、既設の院内放送システム、エレベータ制御システム、自動ドア制御システムを作動し、当院の行動マニュアルにあわせた安全確保のための行動をとる訓練を行った(猶予時間10秒以内)。
三洋ホームズ株式会社	9月8日 13時 (～数分間程度)	愛知県豊田市 (モーター宅)	4名	緊急地震速報端末を利用して緊急地震速報をアナウンス。地震発生から到達までの時間を15秒に設定し、住宅内での避難行動等を訓練。合わせて、家族会議を行い、緊急地震速報の仕組み、事前の心構えを再確認。
株式会社栗本鐵工所 大阪臨海工場	9月28日 15時45分 (～15分程度)	大阪府堺市堺区 (工場敷地内)	事務所、現場の社 員及び協力会社 社員全員 約250名	放送設備から各事務所棟にはテスト放送、工場現場内には地震速報用サイレンを鳴動させることにより、各員の避難行動を確認した。
岩手県釜石市	9月29日 09時～	釜石市小川地区	小川地区周辺の 住民等関係者、及 び消防団員	釜石市総合防災訓練：防災行政無線(J-ALERT)による訓練放送と対応行動
京都大学原子炉実験所	10月1日 13時30分～	京都大学 原子炉実験所	実験所所員、 学生	防災訓練の一環として緊急地震速報を所内放送を通じて所員に伝達し、合わせて避難訓練を行う予定。

自治体における防災訓練の実施状況

期間：防災週間前後より10月1日まで

		緊急地震速報説明ビデオ等の視聴	対応行動訓練（訓練キット使用）	対応行動訓練（その他）	リーフレット等の配布	その他	計
札幌	国						0
	北海道			1			1
	市町村 教育機関			1			1
仙台	国			1			1
	北海道			1	1	2	4
	市町村 教育機関	2		5	8	2	17
東京	国						0
	北海道						0
	市町村 教育機関	1 7	1 1	1 5	1 10	1 4	5 27
大阪	国			1			1
	北海道			1			1
	市町村 教育機関	1 1	1 1	5 3	13	6	26 4
福岡	国			1			1
	北海道			1			1
	市町村 教育機関	1 1	1 2	1 1	3		5 4
沖縄	国						0
	北海道						0
	市町村 教育機関						1 3
計	国	0	2	3	1	0	6
	北海道	2	4	4	3	5	18
	市町村 教育機関	10 1 13	5 1 12	17 6 30	34 1 39	12 0 17	78 9 111